

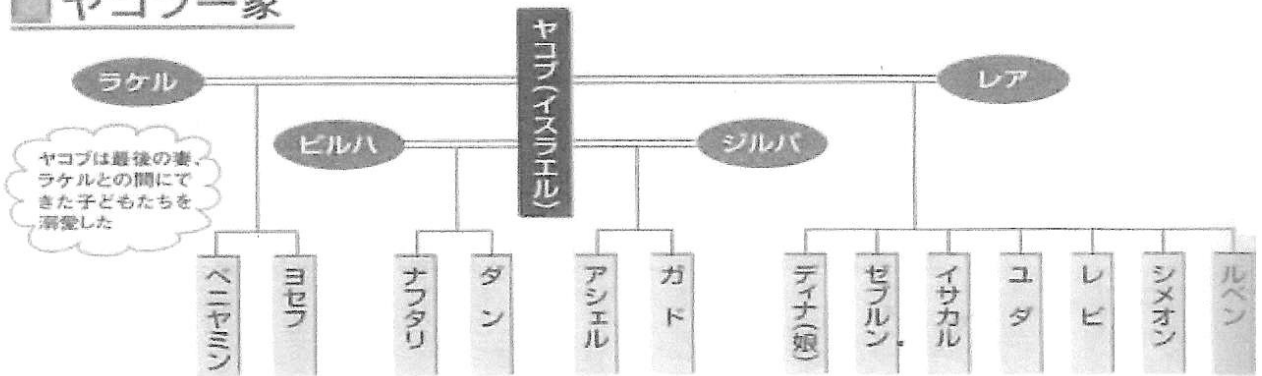
＜神の恵みを味わう＞

詩篇34：1～10

【ダビデ】

イスラエルの12部族のユダ族出身

■ ヤコブ一家



レアは夫の愛を受けられず行き場のない思いをかかえていた。

ルベン：子を見よ

主が私の悩みをご覧になった。子どもが生まれたのだから、今こそ夫は私を愛するだろう。

シメオン：聞く

主は私が嫌われているのを聞かれてこの子を、私に授けて下さった。

レビ：結ぶ

今度こそ夫は自分に結びつくだろう。

ユダ：主をほめたたえよう

イエス・キリストはユダ族、ダビデの家系から誕生。

祭司職を預かるレビ族ではなく、ユダ族「主をほめたたえる」から誕生。

私はあらゆる時に主をほめたたえる。私の口には、いつも、主への賛美がある。

私のたましいは主を誇る。貧しい者はそれを聞いて喜ぶ。【1, 2節】

苦しみの中に在っても「主をほめたたえる」証しが、他の苦しみの中にいる人への励ましや喜びとなる。主の励ましが、周りに波紋のように広がる。

ダビデはまわりに呼びかける！

私とともに主をほめよ。共に、御名をあがめよう。私が主を求めると、主は答えてくださった。

私をすべての恐怖から救い出してくださいました。【3～4節】

ダビデは少年の頃、預言者サムエルから王になる油注ぎを受けた。しかし、それは輝かしい未来へ一側とびとはならず、厳しい道のりが控えていた。

【詩篇34篇をうたったダビデの背景】

- ・羊飼いだっただビデは、羊飼いの心を知っていた。

主は私の羊飼い。わたしは乏しいことはありません。詩篇23：1

- ・巨人ゴリヤテを倒すことができたのは、ダビデの信仰によった。

(1サムエル17：34～37)

- ・名声を得たダビデはサウル王に妬まれ、王になるまでの十数年苦難の日々を送った。

主のすばらしさを味わい、これを見つめよ【8節】

主の恵みの豊かさを味わうには、自分を空っぽにする。

コップの中の古い水を捨て、新しい水の味を味わう。

新しい水を味わおうとするなら、古い水は捨てなければ味わえない。

- ・逃げ込んだペリシテの領地。アキシユ王の家来に、ゴリヤテを破ったダビデだと気づかれてしまう！ そして狂った者のように振る舞って別人を装った。

(1サムエル21：10～15節)

- ・危機を救った英雄、王の婿、忠誠を尽くした自分が、こんな屈辱の道のりをたどらなければならないなんて。ダビデの心は、とても痛んでいた。

なぜですか・・・?! 理解に苦しんだ。

ダビデは、今の自分にできる唯一のこと・・・主を見あげた。